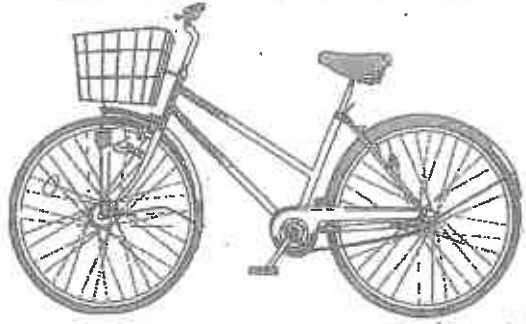


危険行為を繰り返す



自転車運転者は、

講習の受講を命ぜられます！

自転車運転者講習 対象者

特定の危険行為を
3年以内に2回繰り返した
14歳以上の自転車運転者

3時間 6,000円の
講習を受講



命令を受けてから3ヶ月以内に受講しないと
5万円以下の罰金となります

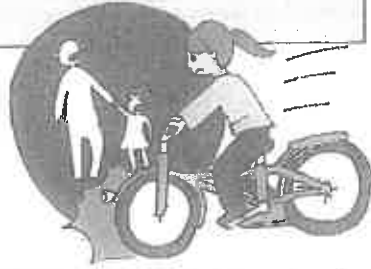
決められた交通ルールとマナーを守り、 運転者として責任ある運転をしましょう！

「自転車運転者講習」受講義務の対象となる危険行為

①信号無視



②通行禁止道路(場所)の通行



③歩行者用道路での歩行者妨害



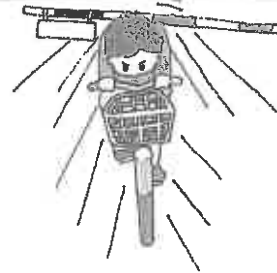
④歩道通行や車道の右側通行等



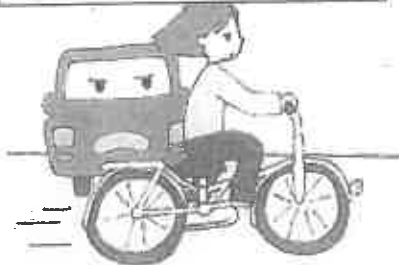
⑤路側帯での歩行者の通行妨害



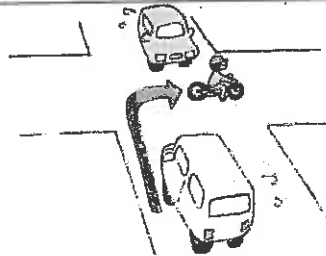
⑥遮断踏切への立ち入り



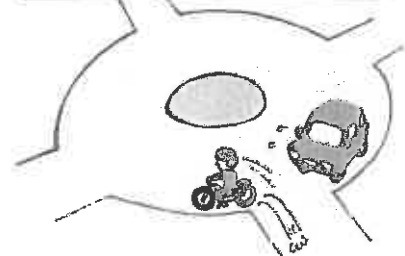
⑦左方車優先妨害・優先道路車妨害等



⑧右折時、直進車や左折車への通行妨害



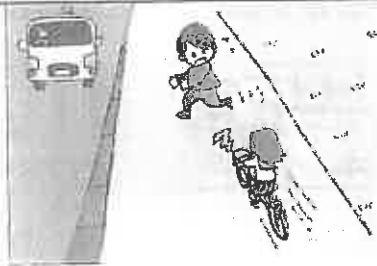
⑨環状交差点安全進行義務違反等



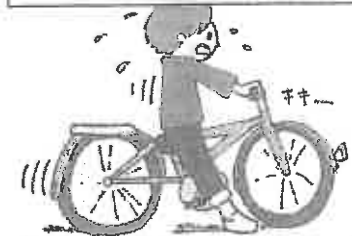
⑩一時不停止



⑪歩道での歩行者妨害等



⑫制動装置不備の自転車の運転



⑬酒酔い運転



⑭安全運転義務違反




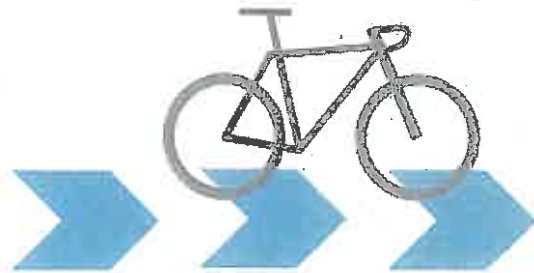
⑮妨害運転(あおり運転)



矢羽根型路面表示って何？



これ  が
矢羽根型路面表示です。



自転車の皆様に...

車道の左端を走ることを促しています。

矢羽根型路面表示の上は、自転車の専用空間ではありません。
できるだけ左端を走りましょう。

自動車の皆様に...

車道の左端を自転車が走ることを注意喚起しています。

矢羽根型路面表示の上を走っても構いません。

お互いに譲り合い

安全な走行を心掛けましょう

知っていますか？ 自転車走行のルール

『自転車は車両』

道路交通法第2条では、自転車（軽車両）は、自動車等と同じ「車両」として規定されています。 自転車は車両であり、車道走行が原則です。

『自転車は左側通行』

道路交通法第18条で、軽車両は道路の左側端に寄って通行と規定されています。

自転車の主な交通ルール

「車道左端」を走行

右側通行はできません！
道路右側にある路側帯・グリーンベルト内も走行できません。

〈罰則〉3ヶ月以下の懲役
または5万円以下の罰金

☆ 右側を通行する際は
自転車から降りて歩きましょう



路側帯・グリーンベルト



「歩道」は走行できない

下の標識がある歩道のみ通行できます。
ただし、歩行者優先で車道寄りを徐行、歩行者の妨げとなる場合は一時停止しなければなりません。

〈罰則〉3ヶ月以下の懲役、または5万円以下の罰金

※ 徐行とは、すぐに止まれる速さをいう

※ 小学生以下・70歳以上の方は標識のない歩道も通行できる



歩行者及び
自転車専用



STOP!



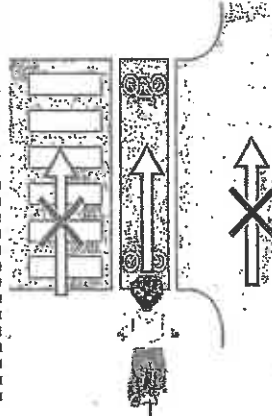
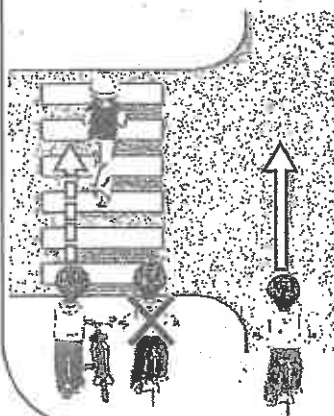
「横断歩道」は降りて歩く

横断歩道上に歩行者がいる場合は
自転車から降りて
渡らなければなりません。
(車道を通行中は横断歩道を渡る必要はありません)

歩行者妨害は
〈罰則〉3ヶ月以下の懲役
または5万円以下の罰金

自転車横断帯がある場合は
そこを渡らなければなりません。

〈罰則〉2万円以下の罰金、または料



「一時停止」は車と同じ

☆ 一時不停止は
自転車事故の原因に多い違反です！

〈罰則〉3ヶ月以下の懲役、または5万円以下の罰金
過失の場合10万円以下の罰金

一時停止場所

赤色点滅信号

止まれ

止まって

見通しの悪い交差点

踏切手前

停止線の手前で
一時停止！

